

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	20-028	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol Use and Antiretroviral Therapy Non-Adherence Among Adults Living with HIV/AIDS in Sub-Saharan Africa: A Systematic Review and Meta-Analysis サハラ以南のアフリカにおける HIV/AIDS 患者のアルコール使用と抗レトロウイルス治療の非順守との関連-システマティックレビューとメタアナリシス		
執筆者		
Velloza J, Kemp CG, Aunon FM, Ramaiya MK, Creegan E, Simoni JM.		
掲載誌		
AIDS Behav. 2020 Jun;24(6):1727-1742. doi: 10.1007/s10461-019-02716-0.		
キーワード	PMID	
ART 順守 アフリカ, アルコール, HIV,系統的レビュー	31673913	
要 旨		
目的： サハラ以南のアフリカにおける研究では飲酒は抗レトロウイルス治療（ART）非順守と関連していると報告されているが、研究間で推定値をプールしたレビューはない。今回はサハラ以南のアフリカで実施されたアルコール使用と ART 非順守に関する先行研究のシステマティックレビューを行いメタ解析した。		
方法： 2019年8月までに、PubMed、CINAHL、EMBASE、PsycINFOで“ART非順守”“アルコール使用”“サハラ以南のアフリカ”に関連する用語で検索した。選考基準を満たした56件の論文のうち、32件がメタアナリシスに含まれた。すべての研究でアルコール使用は自己申告で測定した。ART非順守の定義は論文毎に使用された指標によって異なっていたが、4日・7日・30日の間に投与量の5%以上を服用できなかった場合等とした。		
結果： 飲酒患者は、非飲酒患者と比較してART非順守のオッズが約2倍であった（飲酒者34%/非飲酒者18%；統合オッズ比(OR)：2.25；95%信頼区間：1.87-2.69；p<0.001）。研究間で高い不均質性は認められたが、不均質性と出版バイアスを考慮した感度解析では、統合ORの値は一致していた。飲酒がHIV負荷に及ぼす影響を検討した二次解析では、飲酒を報告した参加者は、非飲酒参加者と比較して、ウイルス非抑制のオッズが約2倍であった（統合OR2.47；95%CI1.58-3.87；p<0.001）		
結論： サハラ以南のアフリカでは飲酒がART非順守と関連している可能性があり、HIV患者に対するアルコール使用への介入の必要性がある。		